

監督就任挨拶

「今回デフリンピックを終え監督のお話を頂いたとき、自分自身が最初に携わらせて頂きました日本ろう者代表埼玉合宿のことを思い出しました。神戸での後輩の結婚式のと夜行バスで新宿まで行き・・・あれからもう8年がたっております。あの頃は自分自身が代表監督になるとは思っていませんでした。

ろう者サッカーを知るきっかけは細見さんが知り合いのチームでプレーしていて縁があり同じチームに所属してから始まります。いつも代表選手の意識の高さ、ひたむきさには心熱くさせられ、何かできることはないかと思ひ合宿で審判などのお手伝いからはじまり現在は副技術委員長をさせて頂いております。

今回の代表選考会招集にあたりましては、富山県での第47回全国ろうあ者体育大会で参加選手から自分自身で選んだ選手、前回デフリンピック出場選手、協会推薦選手が含まれております。初招集の若い選手も多いとお聞きしておりますが若手よりも30歳以上のベテランといわれる選手のほうがスタミナもあり質の高いプレーが多くみられる試合もありました。今回の合宿に参加したからといって代表選手に「なった」わけではありません。また今回呼ばれていなくても大会を通じていい選手がいれば今後追加招集し入れ替えの可能性もあります。4年後のデフリンピックに向けて、いままでの経歴や年齢に関係なく誰もが代表を目指しろう者サッカーのレベルを上げ、すそ野をひろげていくよう考えております。12月に兵庫県で開催されます合宿は2014年10月に開催されるアジアろう者サッカー選手権大会に向けた選手選考をメインに行います。各個人体調をしっかりと管理しいいプレーが数多くみられることを楽しみにしています。」